

現代日本論基礎講読「研究法入門」

第5講 議論を組み立てる

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 厳密な思考と建設的な批判

1 文献・資料の探しかた

- 書店 / 図書館
- CiNii Books: <http://ci.nii.ac.jp/books/>
- CiNii Article: <http://ci.nii.ac.jp>
- Google Scholar: <http://scholar.google.co.jp>
- そのほか、各専門領域のデータベースやリンク集など:
 - <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/zinbun.html>
 - <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/kanren.html>
 - <http://www.sal.tohoku.ac.jp/nik/student/litsurv.html>
- 芋づる式
- 人に聞く

2 論文講読と口頭発表

論文と口頭発表に触れておくことは、学術的な表現方法を習得するという観点からも重要である。必ずしも自分の研究対象でなくとも、様々な分野の論文を積極的に読み、論文の構造や文体や語彙に慣れておくこと。口頭発表については、大学内外での学会・研究会・ワークショップなどに参加してみるとよい：

- 東北大学のニュース: <http://www.tohoku.ac.jp>
- 文学部のニュース: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/index-j.html>
- 田中によるブックマーク: <http://b.hatena.ne.jp/remcat/東北大学>
- 文学部関連フィード集: <http://daichkr.hatelabo.jp/antenna/960679194077064760>
- はぎのすけ (図書館 Twitter アカウント): http://twitter.com/hagi_no_suke

3 課題1 マインドマップについて意見交換

各自が作ってきたマインドマップを見ながら、グループで意見交換する

- 5分程度で説明、そのあと意見交換
- 思いついたことはとりあえず口に出してみる
- この段階では、最終的なレポートの形や、厳密な理論展開や根拠については保留しておいてよい

4 課題2 問いと答えの表を作成

前回資料参照

次回までに完成させて3部持ってくる(うち1部を授業後に提出)。

5 注意すべきポイント

概念と用語

- 定義と意味
- 実際の用法
- 当てはまるものと当てはまらないもの
- 他の概念との関連

論理

- 前提
- 必要条件と十分条件
- 逆や裏を考えてみる

データ

- 対象
- 測定と分析の方法
- 測定の妥当性・信頼性再現性
- 結果をどのように解釈するか
- どのように一般化できるか
- 直観と内省

推論

- 確率と統計的推測
- 場合わけは網羅的か
- 複数の推論の組み合わせ

価値判断

- さまざまな価値基準
- 一貫性

6 今後の予定

- 12/15は通常授業
- 12/22, 1/5 休講: その代わりに個人面談(レポートについて)
- 1/12,19 レポート内容について発表:
- 1/26 休講: そのかわり口頭試問を1月末~2月初めにおこなう

文献

日経BP社(2010)『実践ノート&書類術』(日経ビジネス Associe スキルアップシリーズ)日経BP社.

大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂(2005)『ピアで学ぶ大学生の日本語表現: プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房.